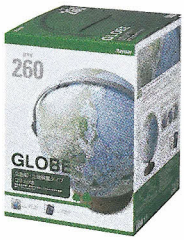
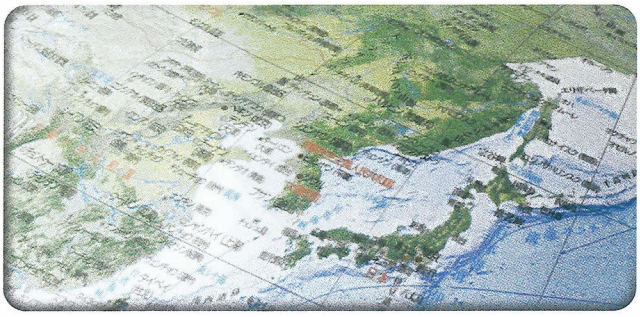
OYV260〈土地被覆タイプ・全回転〉

地球の緑の分布を知り環境問題について考えよう



国際プロジェクト「地球地図プロジェクト」で作成された土地被覆データ使用。北半球・南半球が見やすい全回転タイプ。



ある土地がどんな物で覆われているかを示したものです。この地球儀では森林など背の高い樹木の多いところはおもに濃い緑で、草原などの多いところは薄い緑で色分け表現しています。

土地被覆タイプ地球儀（全回転）　オープン価格　発注単位：4コ

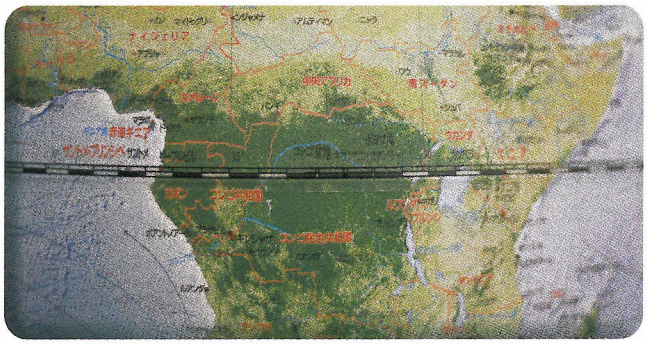
OYV260　JAN 423968　参考上代 13,000円

- ●本体サイズ：W345×H380×D300mm
- ●包装サイズ：W320×H420×D310mm（1コ箱・持ち手付）
- ●本体重量　：2.0kg
- ●素材　：地球儀=ハイインパクトスチロール、フレーム=スチール、台座・支柱=MDF
- ●地球の緑の分布が解る、土地被覆タイプ
- ●北半球・南半球が見やすい全回転タイプ
- ●縮尺　：約1/42,000,000
- ●付属品　：取扱説明書（保証書付）、使用の手引書、地球儀スケール
- ●1カートン4コ入
- ●データ名　：地球地図・グローバル土地被覆
- ●出典　：国土地理院・千葉大学・協働機関

球径 30cm　土地被覆タイプ　地球儀スケール付

地球儀からよみとれる緑の世界

赤道付近は1年を通して緑が多い



赤道付近では熱帯雨林気候になっており、一年を通して気温が高く雨量も多いため、赤道付近では常緑広葉樹林が多い事が、この地球儀からよみとる事ができます。

アメリカの広大な穀倉地帯

中緯度地帯に広がるアメリカの穀倉地帯も、地球儀からよみとる事ができます。

熱帯雨林の伐採

近年、アマゾンやカラマンタン島の熱帯雨林が伐採される環境問題が起きています。アマゾンの熱帯雨林では1978～96年までの18年間に、合せて36万5千平方kmが消失しています。これは日本とほぼ同じ面積になります。熱帯林が失われる主な要因としては、農地開発、牧畜、鉱山開発などが大半をしめており、その様子もこの地球儀をとおしてよみとる事ができます。

土地被覆の分類

常緑広葉樹林	草地	湿地
落葉広葉樹林	草地(まばらな木を含む)	裸地、固結(礫、岩)
常緑針葉樹林	まばらな植生	裸地、未固結(砂地)
落葉針葉樹林	畑	市街地
混合樹林	水田	氷雪
疎林	農地と自然植生の混合	水部
灌木	マングローブ	

地球地図プロジェクトとは…

旧建設省（現在の国土交通省）の提唱で始まったプロジェクトで、世界の国家地図作成機関の協力により世界各国が「自分の国の公認データ」として作成した地図を持ちよって、地球環境の現状を正確に表す地球全体の地図（地球地図）を整備するものです。日本では国土交通省の国土地理院がその役目を担い、地球地図国際運営委員会の事務局を務めるなど、地球地図プロジェクトの推進を積極的に行っています。

株式会社 文泉堂
〒690-0881 島根県松江市石橋町52
0852-24-3333
www.bsd33.com